



さ さ づ か

〈教育目標〉

- 互いの違いを認め 高め合う子
- 主体的に学び 創造する子
- 心身をきたえ たくましい子

令和6年2月29日発行

Tel 3377-2345 Fax 3377-2466 HP <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/sasashoe> 校長 西田 香

令和5年度 学校評価について

令和5年度学校評価についてお知らせします。昨年12月に保護者の皆様や児童を対象に実施させていただきましたアンケート結果も踏まえながら、第9回・10回学校運営今日が会において学校関係者評価を実施しました。アンケートのご協力を有難うございました。以下にその結果をお知らせいたします。今年度も昨年度と同じ区の様式で、評価が「取組(内容)に関する評価」と「(取組の)成果に対する評価」に分かれております。

令和4年度 学校関係者評価結果 (令和6年1月20日/2月20日実施)

(1) 新たな学びの実現	自己評価	関係者評価
① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、学びの質の向上を図る。	A/B	B/B
② 場面に応じてICTを効果的に活用し、自らの学びを深めたり高めたりする能力を育成する。	B/B	
③ 生活科や総合的な学習の時間(シブヤ未来科)における、「探求的な学び」の充実を図る。	B/B	
(2) 安心・安全に挑戦できる環境	自己評価	関係者評価
① いじめや不登校等の問題について、未然防止と早期発見・早期解決に努める。	B/B	A/A
② 特別支援教育に関する専門性を高め、インクルーシブ教育の推進に努める。	A/A	
③ 互いのよさを認め合い、思いやりの心や自他を尊重する態度を育成する。	A/A	
(3) 校務DX	自己評価	関係者評価
① ICTを活用した「新しい働き方」を推進し、ワーク・ライフ・バランス改善を図る。	A/A	A/A
② 校務全般においてICTを活用し、情報の共有や作業・打合せ時間の削減につなげる。	A/A	
③ 学校行事等の精選やスリム化を図り、時間や手間を減らして成果を上げる。	A/B	
(4) 家庭・地域との連携	自己評価	関係者評価
① 学校運営協議会における協議内容を充実させ、地域に開かれた教育課程の実現を目指す。	A/B	A/B
② 地域学校協働本部の活動を拡充させ、地域の人材・団体の教育活動への参画を推進する。	A/B	
③ 学校行事や校外学習への支援、日々の積極的な情報発信等、PTA・保護者との連携を図る。	A/A	
(5) 特色ある教育活動	自己評価	関係者評価
① デジタル・シティズンシップ(情報化社会に適応できる資質・能力)教育を推進する。	A/B	A/B
② ICTも駆使した特別活動の充実を通じて、自主的・実践的に関わり創意工夫する力を育成する。	A/A	
③ 伝統文化体験や英語活動を通じ、自国・他国の文化を大事にする心や豊かな国際感覚を育てる。	B/B	

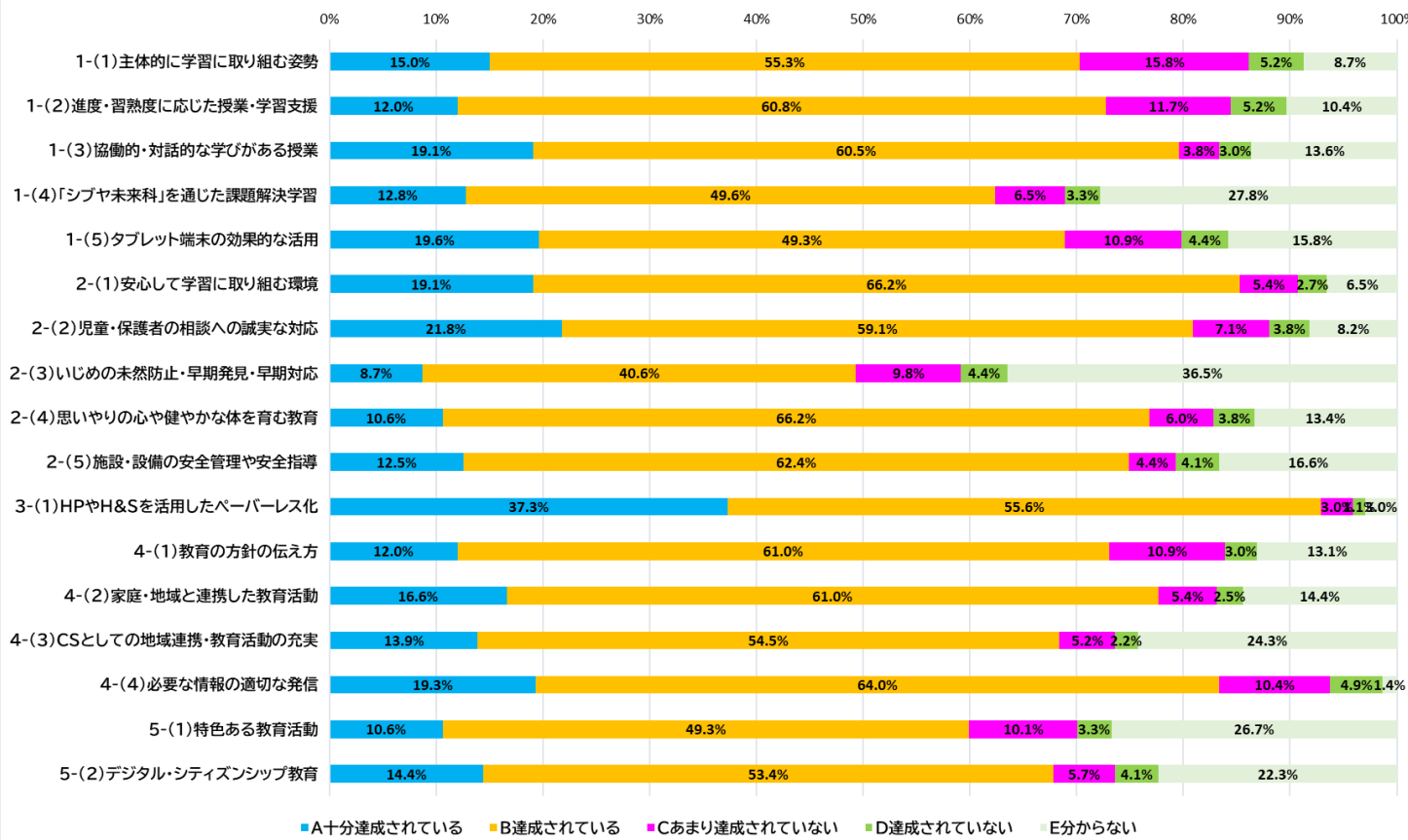
・自己評価…学校側の評価(取組に対する評価/成果に対する評価) A:十分達成 B:概ね達成 C:不十分

・関係者評価…学校運営協議会での評価

(取組に対する評価/成果に対する評価) A:十分達成 B:概ね達成 C:不十分

保護者アンケートおよび児童アンケートの結果は以下の通りです。A、B を合わせた肯定的な評価が 7 割程度いただけました項目が多くありました。安心して学習に取り組む環境や Home&School を活用した情報発信については高評価をいただきました。一方、いじめの対応方針や「シブヤ未来科」に関する学習で「分からない」という回答を多くいただきましたので、学校の教育活動の情報発信と情報共有に努め、子供たちが安心して過ごすことのできる学校を目指して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

R5 年度学校評価に関するアンケート調査結果（保護者） R5 12月実施 回答367家庭 回答率79.4%



児童アンケート結果 R5 12月実施 回答児童数460名 回答率84.4%

